

第一回 連携研究「自然と文化」能登研究会

# 能登の

# 里山里海を

# あなへるもの

参加無料  
定員 60名

2013年

2月10日(日)

13:00~17:00

奥能登総合事務所4階41会議室

住所：輪島市三井町洲衛（能登空港）にて

主催：人間文化研究機構 総合地球環境学研究所

共催：能登町教育委員会、金沢大学里山里海プロジェクト

後援：世界農業遺産活用実行委員会

## 第1部 研究者による報告

### 小松和彦 ● 基調報告

国際日本文化研究センター・所長

妖怪論、シャーマニズム、民間信仰などを研究する文化人類学者、民俗学者。主な著書に『福の神と貧乏神』など。NHK総合テレビ『爆笑問題のニッポンの教養』などに出演するなど活躍中。

### 新田哲夫 ● 報告

金沢大学人間社会研究域・教授

言語学、方言学、特に日本語のアクセントが専門。石川県の方言では、能登島、金沢、白峰を中心に研究を行っている。最近では輪島市海士町のことばの研究を開始。著書は『日本語アクセント入門』（共著、2012年）など。

### 安井眞奈美 ● 報告

天理大学文学部・教授

専門は民俗学、文化人類学。能登を皮切りに、山口県やミクロネシアでフィールドワークを実施。近年では、日本の出産環境の変容を明らかにする研究を進める。編著に『産む・育てる・伝える』、『出産・育児の近代』等。

<第3部>

### 新出直典 ● 話題提供

能登町教育委員会・学芸員

### 中村浩二 ● コメント

金沢大学教授  
金沢大学里山里海プロジェクト代表

### 山 泰幸 ● 司会

関西学院大学・教授

地域の自然や文化を活かしたまちづくりに関する調査・研究に従事。2010年4月より、同大学観光学・まちづくり研究センター長。著書に『追憶する社会』、共著に『文化遺産と現代』等。

### 阿部健一 ● コーディネーター

総合地球環境学研究所・教授

東南アジア熱帯林で生態学調査を続けてきた。その過程で環境問題の文化的・社会的側面に興味を持つ。専門は環境人類学・相関地域研究。編著に『生物多様性 子ども達にどうつたえるか』等。

## 第2部

## 能登の里山里海人「聞き書き」報告

地元高校生が取組を紹介します！



# 能登の里山里海をささえるもの

## プログラム

12:30 ~ 開場

13:00 ~ 主催者挨拶: 佐藤洋一郎 (総合地球環境学研究所副所長)

趣旨説明: 阿部健一 (総合地球環境学研究所教授)

### 第1部 / 研究者による報告 13:10 ~ 15:00

13:10 ~ 基調報告

「能登の歴史・民俗・伝説をめぐって」

小松和彦 (国際日本文化研究センター所長)

13:50 ~ 報告

「方言から見た能登の魅力」

新田哲夫 (金沢大学人間社会研究域教授)

「能登の土地を守り、未来に活かす」

安井真奈美 (天理大学文学部教授)

15:00 ~ 15:15 休憩

### 第2部 / 能登の里山里海人「聞き書き」報告 15:15 ~ 16:00

能登の里山里海人「聞き書き」とは？

能登の里山里海で、長い間、地域を支える農林漁業や伝統文化、工芸、景観保全などにたずさわってきた名人（能登の里山里海人）の知恵や技術、地域に対する誇り、思いを、地元の高校生が「聞き書き」の手法を用いて取材・記録する取組です。

吉野奈保子 ●コーディネーター

NPO法人共存の森ネットワーク事務局長

日本やアイヌの生活文化の調査や映像記録に従事した後、2002年より文部科学省、農林水産省等が主催する「聞き書き甲子園」事務局を担当。今年度より、能登の里山里海人の知恵を伝承する「聞き書き」実施をサポート。

### 第3部 / 総合討論 16:00 ~ 17:00

話題提供: 「能登の里山里海」における能登町の取り組み  
—文化遺産の保存・活用を中心として—  
新出直典 (能登町教育委員会学芸員)

コメント: 中村浩二 (金沢大学教授、金沢大学里山里海プロジェクト代表)

<お問い合わせ>

連携研究「自然と文化」事務局 (総合地球環境学研究所内)

E-mail: People\_Nature@chikyu.ac.jp Tel: 075-707-2272

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山 457-4